

令和5年度予算

アナ： 「市長が語る 2023 三島」第1回となります本日は、令和5年度予算について、お話を伺います。豊岡市長、よろしくお願いします。

市長： よろしく申し上げます。

アナ： 令和5年度の予算のうち、福祉や教育など、市役所の基本的な業務に関わる一般会計予算は424億8千万円と伺っています。

今回、予算を編成する上で意識したことはどのようなことでしょうか。

市長： 市政運営の柱として掲げております「ガーデンシティ」、「スマートウエルネス」、「コミュニティづくり」に「DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進」を基本として、「ウェルビーイング」の視点を取り入れ、「三島で生まれてよかった、育ててよかった、暮らしてよかった」と思っていたくために、今必要とされているものは何か、子どもたちの未来のために必要なものは何か、ということを中心として編成しました。

アナ： 「ウェルビーイング」の視点を取り入れたとのことですが、具体的にはどのようなことでしょうか。

市長： 市民の皆様が、「精神的、身体的、社会的に満たされた状態」となることを意識して事業を展開していくということです。

美しく品格のあるまちを目指すガーデンシティの取組みをさらに発展させ、三島の持つ魅力を最大限に高め積極的に発信することにより、三島市全体のブランド化を進め、市民の皆様誰もがシビックプライドを持てるまちを目指します。

そのような中で令和5年度は、三島駅南口の再開発事業をはじめ、まちなかのリノベーションなどによる活力あふれるまちづくりを推進するほか、今年8月に清水町と共催する全国大会「名水サミット in みしま・しみず」などを通じて、三島の魅力を積極的に発信していきます。

アナ： ガーデンシティの取組みによって、市民の皆さんが住んでいることに誇りを持てるまちにしていくということですね。

市長： その通りです。その他にも、大場地区の土地区画整理事業や、新たな産業用地の可能性調査、さらには企業誘致と市内で事業を始める方への創業支援などにより、市内産業の活性化を図ることで、住みたいまち、訪れたいまちとして関係人口、移住・定住人口の増加にも繋げていきます。

アナ： 三島に様々な人たちが集まって、もっと素敵なまちになっていくということですね。

スマートウエルネスやコミュニティづくりではどのようなことをするので

しょうか。

市長： 人もまちも、そして産業までも健康で幸せを目指すスマートウエルネスの取り組みとしては、相談支援と経済支援を一体で実施する出産・子育て応援事業や、オンライン相談などにも対応する産前産後包括相談センターの開設など、どこよりも子どもを産み育てやすいまちを目指していくほか、健幸アプリを活用し、楽しみながらご自身の健康管理ができる仕組みづくりなどを行います。

また、コミュニティづくりにつきましては、「ウェルビーイング」の視点を地域づくりにも取り入れ、講演会のほか、市内各地域でウェルビーイングミーティングを開催いたします。

市民の皆様積極的に参加していただき、地域のつながりを強め、皆様のウェルビーイングの向上に結んでまいりたいと考えております。

このほかにも、スマート市役所の取り組みとして、書かない、待たない市役所窓口を実現するため、業務のデジタル化やキャッシュレス決済サービスの導入を推進するほか、スマートフォンからのイベント申込みや各種予約など、皆様のニーズに応える展開をしてまいります。

アナ： なるほど。子どもを産みやすい、育てやすいまちづくり、心も体も健康に過ごせる仕組みづくりなどを通して、幸せが一層実感できるウェルビーイングなまちになっていくことと期待しています。

豊岡市長、本日はありがとうございました。

市長： ありがとうございました。